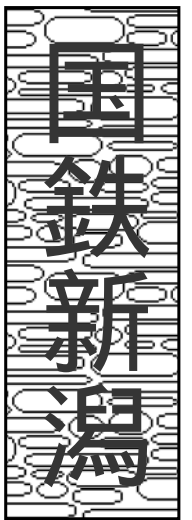




24年目を むかえさせない

1047名解雇撤回！
早期全面解決をめざす
12・6新潟県集会



NO. 668
発行
09・12月20日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部



地域闘争報告 厳しい労働環境と 不当な処分

地域の闘争報告では社会保険庁の問題と私学・加茂暁星高校や帝京長岡高校の闘いが報告されました。



国鉄闘争を 勝利することが 社会状況を変える 私学の闘い

現在、二校で争議闘争。学校側は私学を公立並みの教育を目指すという方針に変えたため、新入生が集まらなくなったこと。それが教員に原因があるとし、先生への



不当解雇・不当差別がかけられました。労働組合つばし差別が行われています。

しかし二〇代・三〇代の組合員の加入があり学校側の組合攻撃がさらに強行されました。この闘いから組合をどれだけ強くするかが、カギです。国鉄闘争を勝利することがこの社会状況を変えていくことになりましよう。そのためにがんばっていきましょう。と報告がありました。

主催者あいさつ 元宮下県評議長



23年間の長い闘いをできる力を持っている。県評当時、労働者側委員としてJR幹部と真っ向から対決していた。全国で地労委は明確に不当労働行為を認定している。しかしJR側は中労委へ提訴、しかしそこでも不当労働行為を認定した。

闘いを進めていくうちに労働者を守る闘いから人権への闘いとなっていた。家族へも話合い家族ぐるみの闘争体制となった。国家的弾圧、攻撃だ。多くの労働者へ訴え全体の結集が長期闘争として闘ってこれたのではないか。

地域の人達の協力があつたこと、法廷闘争への大きな協力があつた。

組合員、当事者のがんばる闘いがあるから、労働者、団体が結集する。

国鉄闘争から学び、交流を深めたことで、今まで闘ってこれたと報告がありました。



司会 渡部さん

記念講演

建交労国鉄闘争推進本部長 坂田 晋作 氏



JR不採用問題は、重要な局面を迎えている。

政治解決への仕組みが変わってきた。政府・国会へ解決を迫る。

政治解決にあたって法的・政治的根拠を踏まえて闘争の到達点を正確にとらえる。

解決への条件、四者四団体が乱れず同一解決を目指していく。四党合意の二の舞にしない。我々が解決していく。

分割型陳情への改革 幹事長の影響力が大

民主党政権の影響力が大きくなつた。地方・地域からの闘いが大きく影響している。

優先順位がある。政務三役の判断になる。(幹事長室内で行われる) 法案提出までは政府、その法案審議の順位は国対委員長会議・小沢幹事長の判断で優先順位が決まる。

政府へ迫ること、国対委員長や小沢幹事長へ迫っていく。

11・26集会ほど、この影響があったのか。各党代表あいさつの状況から解決への道筋がある。政治家が判断し決定していくシステムとなった。幹事長室へ正式に要請する。到達点は我々の闘いによって切り開いてきた。国の政策との闘いだ。分割・民営化は国鉄改革法によって強行された。そのことから政治的解決へ。

闘争団・争議団の訴え

函館闘争団 坂野団員



22年間、新潟の皆さんには大変お世話になりました。その当時を思い出される。組合脱退の攻撃があった。親戚からも国労を辞めると電話があった。現場では口頭で当局は清算事業団へ発令した。

国家権力はそんなに甘いものではない。10年・20年の闘いになると集会などで話しがあった。20名で闘争団を結成。新潟の秋元オルグをはじめ3名が他界された。病氣療養でがんばっている団員もいる。

2・16集会の各政党のあいさつから解決まで、9合目まで来た。闘争団では、我々の要求を獲得するには、世論を喚起しなければ勝利しないと考える。全国各地で集会を開催し大きな支援が広がっている。頂上へ向けてがんばっていく。

音威子府闘争団 小西団員



働く場が無いことから、村おこしなど家族と一緒に働く場を作ってきた。1ヶ月ひとり14万円。子供にすまないと思っている。首を切られたことに対し

家族に負担をかけた。闘争団では59名が他界された。音威子府でも2名が他界された。全体を巻き込んだ国鉄闘争は、納得のいく解決を勝ち取っていく。一步も譲れない闘いだ。労働者の首切り、年金問題など多くの問題が強行されている。この攻撃を許さないため、国鉄闘争を最後まで納得のいく解決に向けてがんばっていく。

全動労争議団 末田団員



3~5年のうちに解決すると思っていたが23年になってしまった。この闘いに、新潟のみなさんからの支援をいただき感謝している。争議団は61名で発足した。7名

が他界された。病気を抱えている団員が多くなっている。政治的解決を図っていくためにがんばっていく。

会場のカンパ・67680円でした



裁判の判決では双方とも解決しない。政治の場で解決することで解決できる。国と国民との争いだ。四者四団体の統一対応、全体がまとまって全面解決・明確な要求項目を出した。政治的合意とそれに基づいて勝利判決へ。

超党派による 政治解決をめざす

超党派による政治解決をめざす。二月十六日の当時鳩山幹事長の発言から、二十四日目を迎える前に解決を。総理の政治的判断を迫る。四者四団体の正式な申し入れを幹事長室へ。鉄建運輸機構への申し入れ。大臣の発言など監督官庁の責任を果たさせ、同じテーブルにつかせる。

全政党・議員へ要請する。それが幹事長室へ要請される。参議院選挙をにらんで地方事務所へ要請行動を取り組む。

世論の結集が重要だ。2・16・日比谷野音で中央集会を開催する。支援団体への訴え、要請について明確にしていく。

裁判闘争の目標、不当労働行為を認定させること。署名活動の取り組みを強化する。

四党合意の 二の舞にしない

四党合意の二の舞にしない。政治解決のために国鉄改革法を承認させられた。現在の違いは、裁判所は敗訴から勝訴へ変わった。四者四団体がまとまったこと。要求を明確にし解決を図ってきた。全体の足並みがそろってきたことから大臣発言など出てきた。四弁護団も含め統一対応。これが政治解決へ、政治的枠組みの具体化。具体的作業、解決弁裁判所 不当労働行為は厚生労働省雇用は政府がJRへ。この手段と作業が必要だ。これがポイントになる。1047名・当事者の同意を求めること、それが無いと解決しない。

